

きょうと地域連携交付金 自己評価調査（令和6年度分）

団体名： 与謝野町

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	(千円)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
					事業費 (実績額)	交付金 充当額		
1	地域づくり連携推進事業	子育て支援	子育て世代包括支援センター事業_妊婦・出産包括支援等事業	<p>【事業の目的】 子育て世代が与謝野町で安心して妊娠、出産及び子育てができるように妊娠、出産及び出産後に対する費用を補助することで切れ目のない支援をする。</p> <p>【事業の内容】 妊婦健康診査費について助成金を支給することで健やかな妊娠期を安心して過ごしてもらう。 新生児聴覚検査費について助成金を支給するまたは委託することで新生児期に気づきにくい聴覚機能についての検査を受けやすくする。</p>	225	112	<p>○新生児聴覚検査11医療機関に委託 ○妊婦健康診査費用助成費を6名に対し交付 ○新生児聴覚検査費用助成費を4名に対し交付</p>	○検査の費用の一部を負担することで子育てしやすい環境を整えた。
2	地域づくり連携推進事業	子育て支援	家庭支援事業_養育困難家庭自立支援事業	<p>【事業の目的】 貧困等が原因で生活が困難する可能性がある子育て世帯の生活向上のために学習支援や生活支援を行うことで安心安全な子育て環境を整える。</p> <p>【事業の内容】 貧困による学習困難児童の増加を防ぐため、また個人に沿った支援が必要となる中、居場所型又は家庭訪問型による生活・学習支援を実施する。</p>	1,650	825	○学習支援・生活支援を利用した小・中・高校生の実人数9人	○貧困等が原因で生じる学習や生活の格差の解消を行い、児童の学習面、生活面において自立に向けた環境を整えた。
3	地域づくり連携推進事業	子育て支援	家庭支援事業_ひとり親家庭支援事業	<p>【事業の目的】 ひとり親家庭等における子育てのしやすい地域環境を作るため、住居費の補助や一時的養護、養育費確保のための経費補助等の支援を行う。</p> <p>【事業の内容】 離婚等でひとり親となった家庭に対し住居費支援、養育費に関する公正証書等の作成に係る費用の一部を支援する。</p>	151	75	○養育費に関する公正証書等に必要費用の全部または一部を3名に対し交付	○養育費取りために生じた費用の一部を支援することで、子どもの重要な権利である養育費の確保ができる環境を整えた。
4	地域づくり連携推進事業	環境	環境活動推進等事業_よさの百年の暮らし委員会事業	<p>【事業の目的】 まちの環境対策及び地球温暖化対策に関する各種取組を行う。</p> <p>【事業の内容】 町民で構成された「よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）」が主体となり、地球温暖化防止や環境保全の啓発事業を実施する。</p>	497	248	<p>○環境等に対する会議を9回実施 ○各種環境、温暖化防止啓発イベントを開催 公民館事業等への協力 ○活動に対する補助金1件交付</p>	○環境改善の方法等についてSNSでの配信やイベントでの啓発活動、ボランティアでの清掃活動を通じて発信することで町民の地球温暖化防止に対する意識を高めた。
5	地域づくり連携推進事業	環境	環境活動推進等事業_阿蘇海等環境づくり事業	<p>【事業の目的】 地域住民、関係団体及び行政が一体となり、阿蘇海の環境改善について、総合的な取組を進める。</p> <p>【事業の内容】 阿蘇海流域等のアオサ回収等実施することで水質改善と町民の環境保全、環境美化意識の向上を図る。</p>	1,225	612	<p>○阿蘇海に流れつく生活ごみや草等の清掃を委託している1区に対し支給 ○一斉清掃の際に区が借りる資材に対し補助金を21区に交付</p>	○阿蘇海の清掃に係る費用を補助することで阿蘇海の環境保全美化を図ることができた。
6	地域づくり連携推進事業	環境	不法投棄対策事業	<p>【事業の目的】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に違反するごみの不法投棄防止や町内の環境美化を図る。</p> <p>【事業の内容】 不法投棄パトロールの実施、不法投棄防止看板の設置、不法投棄物の回収を行う。</p>	1,601	539	<p>○公道等に散乱したごみを回収、県境や山中への不法投棄の監視を実施（年6-4回のパトロール） ○不法投棄が頻発する場所へ注意喚起の看板を設置</p>	○散乱ごみが放置されることで更なるごみ投棄の懸念がある中、本事業の実施によりごみのポイ捨てや廃家電等の大型ごみ投棄の抑止が図れた。
7	地域づくり連携推進事業	防災	農業用施設維持管理事業	<p>【事業の目的】 近年、全国各地で河川の氾濫等による大規模な浸水被害等が発生するなか、河川の維持管理等が重要になってきている。平成30年度までは京都府が実施していた事業だったが以降は地元実施事業となったため与謝野町が事業費の60%を補助することとし、事業が実施しやすい環境を整え災害が起りにくくする。</p> <p>【事業の内容】 砂防ダム浸透の他、野田川及び岩屋川で河川の管理組合が実施する浸透7箇所に対し事業費の60%を支援をする。</p>	4,349	2,174	○井堰を管理している5組合に対し補助金を交付	○事業費の一部を支援することで井堰組合が浸透を実施しやすい環境を構築することができ地域防災の向上が図れた。
8	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	スポーツイベント運営支援事業	<p>【事業の目的】 大江山登山マラソン実行委員会が主体となり実施する登山マラソンに補助することでマラソン大会の継続を図り町内住民の運動不足解消または町外のランナーに本町をアピールすることができ、地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 登山マラソン大会が継続できるようマラソンにかかった経費から参加費等を除いた費用の一部に補助金を交付する。</p>	2,250	1,125	○大江山登山マラソンへの応募者が959名あり参加者が863名	○全国でも希少なトレイルランを実施することで本町をアピールすることができ、全国で多く開催しているマラソンとの差別化をすることで町外の参加者の集客に努めた。
9	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	織物振興対策事業	<p>【事業の目的】 基幹産業である織物業の担い手の発掘・育成をするとともに、情報発信により産地の認知度を高め関係人口の増加を図り、持続可能な織物産地を形成することを目指す。</p> <p>【事業の内容】 和装文化に親しんでもらうため、着物着付け教室を実施する。</p>	205	102	<p>○着物着付け教室を8講座開催（委託事業） ○学校機関が実施する着物着付け教室に対して補助金を交付</p>	○着物着付け教室を開催することで当町の着物文化を後年に継承する機運の醸成と観光客等の新たなターゲット層に対して、和装需要のさらなる普及を図った。
10	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	移住定住支援事業_分譲地新築促進対策	<p>【事業の目的】 人口減少が進む本町において若年層の人口流出の多さが課題となっているため、町の方譲地購入希望者に対し住宅の新築補助を行うことで、町外への人口流出を阻止するとともに移住定住促進及び町の方譲地地の販売促進を図る。</p> <p>【事業の内容】 令和6年4月1日以降に与謝野町が販売する分譲地宅を購入して住宅を新築し、与謝野町に定住する対象者に対して住宅新築に要する費用の一部を補助する。</p>	2,200	1,100	○与謝野町分譲地宅住宅新築補助金として1件交付	○町の方譲地宅の販売促進及び町外への人口流出の防止に繋がった。
11	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	観光地域づくり支援事業_観光振興事業費補助事業	<p>【事業の目的】 各観光振興団体が実施する事業に対し、補助金を交付することで持続可能な観光地域づくりを構築することができ、地域の観光資源の活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 町内の観光資源を活用することにより、観光振興の推進及び交流人口の増加を図るための事業に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。</p>	894	447	○本町の地域経済の活性化を図る活動をした3団体に補助金を交付	○滝のツバキ保存会が企画した千年ツバキエリアの魅力発信に係るイベント、きものでぶらりちりめん街道2024実行委員会が企画した着物イベント等、与謝野町ならではのイベントを企画し、町内外に本町の魅力を発信し集客に努めた。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費(実績額)		事業の実施状況(主な実績等)	自己評価(事業の効果等)
						交付金充当額		
12	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	観光地域づくり支援事業 与謝野町観光協会補助事業	【事業の目的】 与謝野町観光協会に対し、補助金を交付することで、観光振興に資する事業を展開し観光振興による人的交流の促進並びに観光消費額を押し上げ、地域経済の活性化を図る。 【事業の内容】 与謝野町観光協会に大して運営に補助を行うとともに、当協会が実施する観光振興事業に要する経費の一部について補助金を交付する。	17,967	8,983	○観光PRの実施(旧庁舎での観光案内、ブース出展、各メディアでの情報発信等) ○既存観光コンテンツの販売促進 ○日本遺産体験コンテンツの作成(4件) ○近隣市町観光事業者対象の町内モニターツアーを実施 ○各種観光セミナー、観光人材育成講座の実施	○与謝野町観光協会への補助金交付及び伴走支援により、同協会の取組を通じて、観光情報発信や与謝野町ならではの体験型観光コンテンツの作成及び販売促進等を行い、観光を活用した賑わい創出や持続可能な地域づくりに寄与した。
13	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	移住定住支援事業_子育て移住定住対策	【事業の目的】 人口減少及び少子高齢化の進む町において、与謝野町への子育て世帯の移住定住を促進し、地域の活性化と人口減少の抑制を図る。 【事業の内容】 与謝野町に移住定住する目的で家屋の新築または新築建売住宅・中古住宅を購入する子育て世帯に対して、移住定住に要する費用の一部を補助する。	8,700	4,350	○与謝野町に移住し、住宅を取得した子育て世帯(義務教育以下の子を扶養する世帯)7世帯(24人)に対し補助金を交付	○子育て世帯の移住が増えることにより、地域の担い手不足や少子化などの地域課題に対応することが出来た。
14	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	旧加悦町役場管理運営事業	【事業の目的】 旧加悦町役場庁舎は、文化財建造物の価値を損なわない方法により大規模修繕を行った全国的にも珍しい事例であるため、現地において有識者による講演等のを行い、文化財保存と耐震化、活用に関する啓蒙を促進する。 また、同建造物は北丹後地震直後に耐震対策について熟考し建築された建造物でもあることから、併せて参加者の防災意識の向上を図る。 【事業の内容】 令和2年に耐震改修を含む大規模修繕を実施した旧加悦町役場庁舎において、有識者による講演会、現地説明会を行う。	585	292	○11月16日、17日の2日間、旧加悦町役場庁舎において講演会・現地説明会を開催(延べ約100人が参加。内7割が町外からの参加) ○ノベルティグッズとして、災害時にも役立つオリジナルの手拭いを製作	○文化庁HPに開催案内、新聞に開催報告が掲載され、本町の貴重な文化財について周知する機会となった。 ○町広報誌において特集記事を掲載。身近な文化財建造物への愛着と価値への気づき、当日参加していなかった方々への防災意識向上の一助となった。
15	地域づくり連携推進事業	万博	与謝野駅周辺まちづくり計画事業	【事業の目的】 与謝野駅は、大阪・関西万博が開催される令和7年度に100周年を迎える。そこで、多様な主体の協働により、駅100周年事業を、大阪・関西万博事業の一環として実施するため、地域・事業者・行政が駅周辺地域活性化のビジョンを共有するための「与謝野駅周辺まちづくり計画」を策定する。 【事業の内容】 与謝野駅周辺まちづくり計画策定のための検討委員会及びワークショップを開催し、策定した計画の印刷・配布を行う。	244	122	○検討委員会及びワークショップの開催等を行い、地域・事業者・行政が駅周辺地域活性化のビジョンを共有するための与謝野駅周辺まちづくり計画を策定・配布	○地域・事業者・行政の協働により、イベント開催や駅へのデジタルサインボードの設置、与謝野駅整備事業計画を企画するなど、駅周辺地域の活性化を図ることが出来た。
16	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	協働のまちづくり推進事業	【事業の目的】 自ら住みよい地域づくりを目指した地域福祉、自主防災、地域安全等の地域コミュニティを支援するとともに、その活動の拠点となる公民館等の整備・充実を図る。 【事業の内容】 町内24の自治区をはじめ様々な団体の自主的・主体的な「まちづくり・人づくり」活動に対し補助金を交付する。	7,708	3,854	○町内で実施されるソフト事業、公民館又は集会所の新築、増築等の事業、自治会等のコミュニティ活動に資する備品の整備事業等を実施した19団体にに対し補助金を交付	○町内の自治会・地域活動団体が実施する活動。また公民館又は集会所の修繕・備品購入等に補助金を交付し、住民が主導となり自ら住みよい地域づくりのできる体制を整えることが出来た。
17	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	障害者相談支援事業	【事業の目的】 障害のある方が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、本人やその家族に専門的な知識のある相談員が対応することで福祉サービスなどの必要な支援に繋げる。 【事業の内容】 障害のある方・家族等からの様々な相談に対し、専門知識を持った方が相談を受け、問題解決に繋ぐことで自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。また、18歳までの子どもと家族を対象に専門的な知識のある相談員による相談支援を行い、福祉サービス及び保健医療サービスの利用援助や権利擁護のために必要な援助等を支援する。	13,727	6,863	○障害者相談支援事業所及び障害福祉サービスに係るNPO法人へ福祉サービス等の相談支援を委託	○福祉サービス等の相談支援障害のある方またはそのご家族等からの様々な内容の相談に対し、研修を受けた専門知識を持った方が相談を受け、必要な情報提供や助言、問題解決に繋がった。
18	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	がん検診等受診事業	【事業の目的】 各種がん検診の無料受診を実施し、早期発見・早期治療に繋がるサポート体制の充実を図る。 【事業の内容】 肺がん、胃がん、子宮頸がん、乳がん検診について、総合検診の際に同時に受診しやすい環境を作り、個人負担なしで受診してもらう。	30,387	15,193	○各種がん検診について2事業者に委託	○無料で受診する環境を整えることで受診率が向上しており、毎年10人前後早期で発見されており、医療費の抑制が図れている。
19	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	災害・危機管理対応事業	【事業の目的】 発災時に、被災者・避難者等に対して生活に必要な水道水の円滑な供給を図るため、応急給水設備(応急貯水槽・応急給水装置)を整備し、計画的、効率的な応急給水体制の構築を図る。 【事業の内容】 備蓄食料として保存食アルファ米を購入する。また、広域避難所4カ所を給水拠点とし、給水設備を整備する。	2,987	1,493	○備蓄食料アルファ米の購入(1700食) ○組み立て式応急給水水槽を5基購入	○災害備蓄計画に基づいたアルファ米の備蓄ができた。 ○災害時の長期開設避難所に設置する応急給水槽が整備でき、万が一の時水の確保が可能になった他、防災訓練においても活用し、被災時に備えた訓練も行った。
20	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	教育環境整備事業	【事業の目的】 学校機能を確保するため、安全・安心な教育環境を整備し、教育環境の質的向上に努める。 【事業の内容】 不登校指導員を配置することで登校しない、したくてもできない生徒に対し集団生活への適応、自学自習等の相談及び支援を実施している。また心の相談員を配置することで学習環境に不応対になりがちな生徒が相談しやすい環境を整える。	9,854	3,605	○不登校支援員として4名、心の相談員として2名雇用	○不登校指導員、心の相談員を配置することで児童が登校しやすい環境を整えた。
21	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	学校教育振興事業_ローカルブレイクアウト事業	【事業の目的】 GIGAスクールで整備した1人1台タブレットの有効活用を図るため、既存のネットワークシステムを変更することで、通信環境を確保する。 【事業の内容】 現在のネットワークは、情報センターを経由するセンター集中型であるが、デジタル教科書への移行等によりICT利活用が本格化することを見据えて、各学校から直接ネットワークに繋ぐローカルブレイクアウト型に変更する。	5,021	2,510	○各学校から直接ネットワークに繋ぐローカルブレイクアウト型へ環境を整備	○ネットワークを変更することで、今後増大が見込まれる通信環境を整備した。
22	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	地区公民館活動推進事業	【事業の目的】 多様化する学習要求の充足や地域課題の解決を図るため、町内に20館設置されている地区公民館を中心に、生涯学習の推進や地域課題の解決等を目的とした公民館活動を展開する。 【事業の内容】 生涯学習講座・地区防災講座等の開設、区民交流行事等の公民館活動の実施を各地区公民館へ委託する。	5,485	2,742	○町内20館に公民館事業を委託し、それぞれの公民館運営委員会により地域の実情に合わせた公民館活動が企画され、館長・公民館主事を中心に活動を展開	○人権、青少年健全育成などの必須事業と、各地区の創意工夫をもって実施される自主事業の両輪で、地域コミュニティの拠点としての活発な活動が展開できている。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費(実績額)		事業の実施状況(主な実績等)	自己評価(事業の効果等)
						交付金充当額		
23	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	高校魅力化推進事業	<p>【事業の目的】町内唯一の高校である宮津天橋高校が加悦谷学舎と町との協働による学びづくりを推進し、特長の町を担う郷土愛と熱量あふれる人づくりを目指す。</p> <p>【事業の内容】高校魅力化コーディネーターを通じて、地域に根差した探究学習・キャリア教育を展開する。</p>	4,541	2,270	○高校魅力化コーディネーターを配置し、地域探求学習を推進	○地域探究を通じて、生徒主体で地域住民の笑顔を引き出す事業・イベントが数多く生まれ、中高の交流に加え、R6は中高の交流も生まれるなど、町づくりの参画者としての存在感が高まっている。
24	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	自治組織支援事業	<p>【事業の目的】人口減少・少子高齢化と並行し、地域コミュニティ意識の希薄化、自治組織力の低下が進む中で、地域住民の連帯感を育成し住みよい地域社会の仕組みの維持を目指すため、自治会に対し支援を行い、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】町内の24行政区単位で組織されている自治会に対し、地域の多様な主体と協力して地域住民の福祉の増進に資する協働活動への支援を実施する。</p>	11,062	5,531	<p>○地域住民の連帯感を醸成し住みよい地域社会の維持、地域コミュニティの活性化を推進するため、地域運営の基盤となる自治会に対し自治会運営交付金を交付</p> <p>○自治会が地域コミュニティ事業等の事業の円滑な実施のため加入する自治会活動保険掛金の半額を助成</p>	○人口減少や少子高齢化が進展する状況において、自治会運営の維持・継続、地域の活性化、地域住民の連帯感の醸成に資することが出来た。
25	市町村間連携推進事業		地方バス運送路線運行維持支援事業	<p>【事業の目的】沿線市町で丹後海陸交通株式会社が運行する幹線系統のバスに対し路線維持の目的で支援することで生活交通の確保を図る。</p> <p>【事業の内容】丹後海陸交通が安心安全に運行できるように補助金を交付する。</p>	4,374	2,187	○幹線系統バスを運行する交通事業者に対し、路線の維持確保のための補助金を交付	○学生や高齢者等、車を持たない住民の移動手段を確保することが出来た。
26	市町村間連携推進事業		京都丹後鉄道利用促進対策事業	<p>【事業の目的】丹後2市2町連携事業として、高齢者(65歳以上)が京都丹後鉄道(丹鉄)を利用する場合に、片道運賃の上限を200円とする取組を行うことで、安価で便利な公共交通として利用の促進を図る。</p> <p>【事業の内容】町内在住の65歳以上の方を対象に、片道運賃200円の切符を販売し、宮津駅、天橋立駅、若滝口駅、与謝野駅のいずれかを乗車、または降車した場合に限り丹鉄利用区間の差額運賃を町が負担する。</p>	1,268	634	○利用者(65歳以上の町民)に対し、片道運賃200円の切符を販売(利用区間の差額運賃は町が負担)し、通年で延べ2,230件の鉄道利用を促進	○丹後2市2町連携事業として、高齢者(65歳以上)が京都丹後鉄道(丹鉄)を利用する場合に、片道運賃の上限を200円とする取組を行うことで、安価で便利な公共交通として利用の促進を図ることが出来た。
27	市町村間連携推進事業		戸籍総合システム共同運営事業	<p>【事業の目的】1市2町の共同で戸籍総合システム及び機器をリース調達することで、更新費用等の削減を図る。</p> <p>【事業の内容】与謝野町に共同利用機器を設置し、その管理運営も担っている。</p>	8,674	4,121	○近隣市町と戸籍総合システムを共同化事業として実施し保守並びにリースを2事業者に対し委託	○隣市町とシステムを共同運営することで単独市町で運営する場合と比較して40%程度削減することができた。
28	市町村間連携推進事業		医療人材確保事業_休日応急診療所	<p>【事業の目的】1市2町(宮津市、伊根町、与謝野町)の共同により休日において医療を必要とする住民に対し、応急的な診療を行うための医療体制を確保する。</p> <p>【事業の内容】外科診療については与謝野医師会に委託し在宅当番医を運営するとともに、内科診療については、休日応急診療所を共同運営する。</p>	9,771	4,885	<p>・外科診療 与謝野医師会の10医療機関の輪番制により、休日(日曜・GW・年末年始)に開院</p> <p>・内科診療 1市2町(宮津市、伊根町、与謝野町)で応急診療所を共同運営することにより、休日(日曜・GW・年末年始)に開院</p>	・地域住民が安心して生活できるよう、休日において医療を必要とする住民に対し、受診ができる医療体制を整えた。
29	市町村間連携推進事業		医療人材確保事業_医療従事者確保事業	<p>【事業の目的】地域医療の安定、充実を図るために必要な京都府立医科大学附属病院の医療従事者(医師・看護師・医療技術職)の確保を目指す。</p> <p>※1市2町(宮津市、伊根町、与謝野町)共同事業</p> <p>【事業の内容】 ・医師、看護師 京都府立医科大学附属北部医療センターに勤務する意志を有する専門研修・臨床研修中の医師及び医学課程に在学する学生、看護師養成学校に在学する学生に対し、研修や修学に要する資金の貸付(条件を満たした場合返済不要)。 ・医療技術職員 京都府立医科大学附属北部医療センターに就職した医療技術職員に対して奨学金返済の支援(就労月分のみ)。</p>	6,532	3,266	<p>○看護学生への奨学金貸付13名(6,487千円)</p> <p>○医療技術職員への奨学金返済支援1名(45千円)</p>	○全国・京都府でも医療従事者の確保が課題となる中で、丹後医療圏は特に厳しい状況で、京都府北部の中核病院である北部医療センターの医療人材確保を通じ、地域医療の安定・充実につながった。
30	市町村間連携推進事業		暮らしの安全・安心向上事業	<p>【事業の目的】1市2町の共同で宮津与謝消費生活センターの設置を行い、消費者のトラブル相談、啓発事業等を行い住民の安全・安心を確保する。</p> <p>【事業の内容】宮津市役所内に相談箇所を設置し、消費者トラブル等に相談に対応する。</p>	2,350	455	○近隣市町村で運営した宮津与謝消費生活センターへ相談した件数145件(与謝野町65件)	○共同で運営することで宮津与謝管内でのトラブルの情報が共有しやすくなり、啓発活動を実施するうえでより効果のある啓発を実施することができた。
31	市町村間連携推進事業		林道等管理事業	<p>【事業の目的】京丹後市との共同で丹後縦貫林道の維持管理に関する基本的事項を定め、森林を適正に管理するための林道の維持活用と通行の安全を確保する。</p> <p>【事業の内容】丹後縦貫林道(成相線、大内線、奥寄線)の管理のための林道の除草、側溝清掃を行う。</p>	2,236	1,118	○丹後縦貫林道の除草、側溝清掃等の整備を実施(負担金として支出し、京丹後市が実施)	○丹後縦貫林道を適切に維持管理することで、通行の安全と災害が発生するリスク軽減を図れた。
32	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		有線テレビ施設維持管理事業	<p>【事業の目的】有線テレビ施設の長寿命化を図り、地方債発行を伴うような施設改良事業の実施抑制を促し、後年度の財政負担を軽減させるための工事を行う。</p> <p>【事業の内容】有線テレビ加入者の依頼のもと、光ファイバークーブルの撤去、移設移転、工事等を実施する。</p>	3,814	1,907	○光ケーブルの撤去、移設移転、工事等を実施	○有線テレビ等を維持していくことで地域情報格差の解消に努めた。
33	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		廃棄物処理施設維持補修事業(長寿命化対策)	<p>【事業の目的】廃棄物処理場の安定稼働のために一般廃棄物最終処分場の長寿命化を図ることにより、地方債発行を伴うような施設改良事業の実施抑制を促し、後年度の財政負担を軽減させるための工事を行う。</p> <p>【事業の内容】野田川最終処分場の施設整備の修繕等を実施する。</p>	12,081	6,040	○野田川最終処分場浸出水処理施設の汚泥脱水機工場整備を実施	○最終処分場の基幹設備である浸出水処理施設の汚泥脱水機を整備したことで施設の長寿命化が図れ、浸出水の安定処理が可能となった。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
34	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		街路灯・防犯灯維持管理事業(長寿命化対策)	<p>【事業の目的】 町の重要な生活基盤である街路灯の維持・新設工事を行うことにより、住民の安心・安全を確保するとともに、街路灯等の長寿命化を図り、地方債発行を伴うような施設改良事業の実施抑制を促し、後年度の財政負担を軽減させるための工事を行う。</p> <p>【事業の内容】 町道の街路灯等の交換修繕などを実施する。</p>	6,797	3,398	○町道の街路灯・防犯灯を修繕・新設整備を実施(計159基)	○適切な修繕等により住民の安心・安全が確保された。
35	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		学校施設維持補修事業(長寿命化対策)	<p>【事業の目的】 子どもたちの健全育成のために重要な学校施設の補修・耐久性の強化を行うことにより子供たちの安心・安全を確保するとともに、長寿命化を図り、地方債発行を伴うような施設改良事業の実施抑制を促し、後年度の財政負担を軽減させるための整備を行う。</p> <p>【事業の内容】 学校施設の修繕・維持補修などを実施する。</p>	3,083	1,274	○学校施設の維持補修、突発修繕を実施(15件)	○プール修繕、学校設備等の修繕を実施し、教育環境を確保することが出来た。
36	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		有機物供給施設維持補修事業	<p>【事業の目的】 生産加工施設の長寿命化を図ることにより生産肥料を安定的に確保するとともに、地方債発行を伴うような事業の実施抑制を促し、後年度の財政負担を軽減及び施設機能を確保するための補修を行う。</p> <p>【事業の内容】 与謝野町が力を入れている循環型農業の根幹となる「京の豆っこ」肥料を製造している施設内の整備を行う。</p>	4,780	2,390	○振動ふるい機等施設整備の修繕を実施	○本町の循環型農業の根幹となる肥料を製造する施設を整備することで本町が重点を置いている農業ブランドを維持することができた。